

令和元年10月開始

介護ロボット等活用推進事業について

名古屋市健康福祉局高齢福祉部介護保険課

事業者指定担当主幹 玉井 良司

「介護ロボット等活用推進事業」の概要

背景	介護人材不足
目的	介護職員の負担軽減・定着支援 介護の質の向上
事業内容	コンサルティング・マッチング 普及・啓発 介護ロボット導入効果検証
実施機関	なごや福祉用具プラザ

介護分野の有効求人倍率

1位	愛知県	6.19倍
2位	東京都	6.05倍
3位	岐阜県	5.51倍
4位	大阪府	4.94倍

【全国】 介護：3.80倍 全職：1.38倍

※資料出所：厚労省「職業安定業務統計」平成31年4月

市内施設における 介護ロボットの導入率

28%

市内アンケート調査より

実施年月 平成30年7月

調査対象 名古屋市内の特養（117施設）・老健（75施設）

回答率 80%（回答：154施設）

(介護ロボットを利用している施設への質問)
人材確保に有効だと思いますか

有効だと思う・まあまあ有効だと思う	56%
あまり有効ではない・有効ではない	28%
どちらともいえない	16%

(介護ロボットを利用していない施設への質問)

利用していない理由は何ですか？

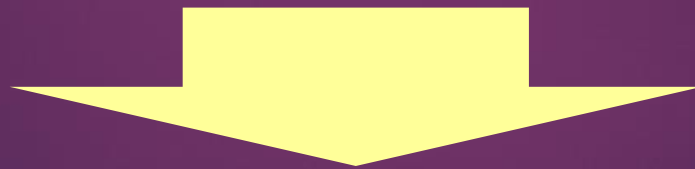
購入費用やメンテナンス費用が高い	43%
何を使ってよいかわからない	15%
必要性を感じていない	12%
検討中である	25%
その他	5%

介護ロボットの導入・継続的な利用 に必要なものは？

購入費用の補助	36%
介護ロボットの試用・貸出事業	32%
研修・セミナーの開催	14%
介護ロボットの展示や相談窓口	7%
マッチングやサポート	7%
その他	4%

【介護ロボットの導入・活用にあたっての課題】

- 介護ロボットの情報や効果が知られていない
- 各事業所のニーズにあった介護ロボットの選択
- 機器をうまく活用できていない



個別支援

＜介護ロボット等活用推進事業＞

コンサルティング・マッチング

- ✓ 相談窓口の設置
- ✓ 介護現場における課題分析（アセスメント）
- ✓ 各介護現場に適した介護ロボット等の選定
- ✓ 使用にあたってのアドバイス

介護ロボットや福祉用具に精通した専門職（リハビリテーション工学技師、作業療法士、ソーシャルワーカー、看護師）がサポート

<介護ロボット等活用推進事業>

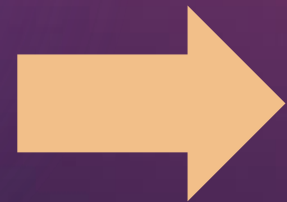
普及・啓発

- ✓ セミナーやフォーラムの開催
- ✓ 介護ロボットの展示

<介護ロボット等活用推進事業>

介護ロボット導入効果検証

- ✓ 介護ロボットの効果を定量的に検証
- ✓ 検証結果の発表・横展開



多くの**成功事例**を創造

ご清聴ありがとうございました